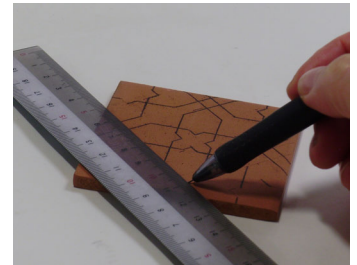
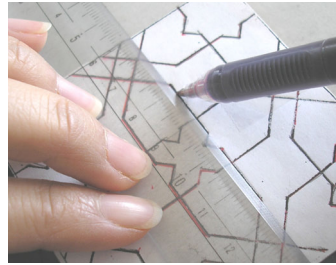
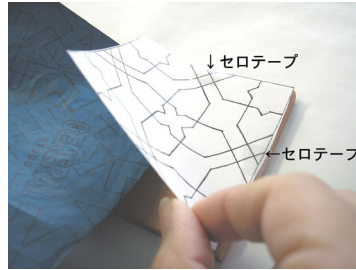
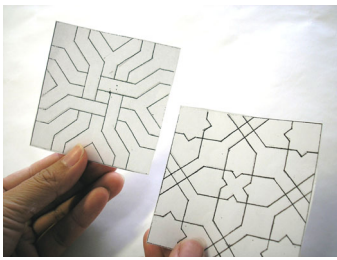


スペインタイル絵付け お手軽きっかけレッスンset 「幾何学模様のコースター」の描き方

みなさんにご用意いただきたいもの

はさみ、セロテープかマスキングテープ、水を入れるカップ（倒れにくいもの）、水、シャープペンと「B」の芯、楊枝や先の小さいプラスチックスプーン、ドライヤー（なくてもよい）、定規、カッターナイフ



1. デザインシートを外枠にそって切ります。

2. デザインシートをタイルにのせ、2カ所（上と左右どちらか）をセロテープやマスキングテープで止め、間にカーボン紙を挟みます。

3. デザインの線を軽くなぞります。（色付きボールペンやシャープペン等何を使ってもよい）

4. デザインシートとカーボン紙をはがして下描きした線の上を「B」の芯を入れたシャープペンで濃く描きます。「HB」などではうまく絵付けできません。



□ 線の濃さは2度描き程度。あまり太くしすぎないように。一度描いた線はこすらないようにします。間違えたら消しゴムで消して下さい。カーボンで下描きした線からはみ出したりずれても大丈夫。その場合もカーボンの線は消す必要はありません。カーボンとシャープペンの線は、焼成すると消えます。



5. 絵の具(釉薬)は楊枝等でよくかき混ぜます。絵の具がカップの中で固まってしまったらほんの少しずつ水を足してよくかき混ぜます。少しトロツとした状態が使い易い状態です。

6. スポイトに絵の具を吸わせ、タイルの上ののせていきます。シャープペンで描いた線が絵の具をはじいてくれます。

□ 模様細かいところや角は絵の具が乾かないうちに楊枝や先の細い筆などでのぼしてください。色を変える時はスポイトをよく洗って下さい。

釉薬は少し盛り上がった方が色がきれいに出来ます。乾いた状態で1mmくらい盛り上がるようにのせて下さい。表面は少しでこぼこしていても大丈夫です。乾いた釉薬の上に何度か重ねてのせても大丈夫です。

★1色塗り終わったら、ドライヤー等で乾かしてから次の色を塗りましょう。はみ出してしまった時の修正がし易いです。

こんな時は・・・

絵の具がはみ出した時、絵の具が他の色にかぶってしまった時。見えなくなってしまった線を、もう一度シャープペンで描きます。（少し乾いてからの方がやり易い）



かぶってしまった絵の具や、はみ出した絵の具は楊枝やカッターナイフでそぎ取ります。他の色も一緒に取ってしまった場合は、もう一度上から絵の具を足しておきます。



★絵付け後の作品は丸一日以上乾かしてから梱包して下さい。